

男女共同参画に関する意識調査 調査項目比較検討資料

分野	回答者	番号	佐賀県(R1)実施案		質問の性質	前回資料	内閣府(H28)	佐賀県(H26)	佐賀県(H21)	佐賀県(H16)
男女の地位について	全員	1	男女の地位は平等になっていると思うか			○	○	○	○	○
			(1) 家庭生活で	新規	意識 一般		○	○	○	○
			(2) 職場で	新規	意識 一般		○	○	○	○
			(3) 学校教育の場で	新規	意識 一般		○	○	○	○
			(4) 地域活動・社会活動の場で	新規	意識 一般		○	○	○	○
			(5) 政治の場で	新規	意識 一般		○	○	○	○
			(6) 法律や制度の上で	新規	意識 一般		○	○	○	○
		(7) 社会通念・慣習・しきたり	新規	意識 一般		○	○	○	○	
2	あらゆる分野で男女がもっと平等になるために最も重要だと思うことは何か		意識 一般	○		○	○			
家庭生活について	全員 賛成、どちらかという と賛成の人 反対、どちらかという と反対の人	3	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである		意識 個人	○	○	○	○	○
			(1) なぜですか	新規	意識 個人		○			
		(2) なぜですか	新規	意識 個人		○				
	全員	4	家事は誰の役割か		実態 個人	○	○	○	○	○
	全員		(1) 家事をどのくらいの頻度でやっているか	新規	実態 個人					
	家事をしている人	5	(2) 家事を行う日は、1日にどのくらいやっているか。	新規	実態 個人					
	子どもがいる人		子どもの世話、しつけは誰の役割か		実態 個人			○	○	○
	子どもがいる人	6	(1) 育児をどのくらいの頻度でやっているか	新規	実態 個人					
	育児をしている人		(2) 育児を行う日は、1日にどのくらいやっているか。	新規	実態 個人					
	親がいる人	6	親の世話(介護)は誰の役割か		実態 個人	○		○	○	○
子育てと教育	子どもがいる人	7	女の子も男の子と同様に経済的に自立できるような教育が必要		意識 個人	○		○	○	○
		8	男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい	修正	意識 個人	△		○	○	○
		9	子どもの最終学歴はどの程度あるべきだと考えるか	修正		△		○	○	○
			(1) 女の子		意識 個人	○		○	○	○
			(2) 男の子		意識 個人	○		○	○	○

分野	回答者	番号	佐賀県(R1)実施案		質問の性質	前回資料	内閣府(H28)	佐賀県(H26)	佐賀県(H21)	佐賀県(H16)	
働き方について	全員	10	今職業を持っているか				○	○	○	○	
	職業を持っている人	(1)	どのような職種で働いているか		実態	個人	○	○	○	○	
		(2)	雇用形態は		実態	個人	○	○	○	○	
		(3)	職業をもっている理由		意識	個人	○	○	○	○	
	職業を持たない人	11	(1)	職業を持たない理由		意識	個人	○	○	○	○
		(2)	職業を持つ場合、どのような点を重視するか		意識	個人	○	○	○	○	
		(3)	職業を持つとすれば、どのような形態が望ましいか		意識	個人	○	○	○	○	
	全員	12		女性が職業を持つことをどう思うか		意識	一般	○	○	○	○
		(1)		職業を持たない(継続しない)方がいいと答えた理由は何か				○	○		
		13		女性が職業を持ち、働き続けるためにはどのようなことが必要か				○	○		
		14		職場で男性が育児休業を取得するとしたら、どう思うか	修正	意識	一般	△	○		
		15		男性の育児・介護休暇取得が進まない理由は何か		意識	一般	○	○		
		16		生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度の理想		意識	個人	○	○	○	○
		17		生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度の現実		実態	個人	○	○	○	○
		18		生活における優先度の理想と現実を埋めるために必要なこと	新規	実態	個人				
	19		仕事と生活の調和を実現していくための条件		意識	一般	○	○	○		
	職に就いている、就いていた方	20		職場でセクハラやパワハラなどのハラスメントにあったことがあるか。	新規	実態	個人				
被害にあった方	(1)		相談したり、通報したり、被害を訴えることをしたか。	新規	実態	個人					
全員	21		ハラスメントを防ぐためには何が必要だと思うか	新規	意識	一般					

分野	回答者	番号	佐賀県(R1)実施案		質問の性質		前回資料	内閣府(H28)	佐賀県(H26)	佐賀県(H21)	佐賀県(H16)
社会における活躍について	全員	22	自分自身が管理職等への登用や企画・方針決定の場に参画することを望むか。	新規	意識	個人					
	望まない人	(1)	望まない理由は何か。	新規	意識	個人					
	全員	23	管理職等への登用など企画や方針決定の場に女性の参画が少ない理由(選択肢10、いくつでも)		意識	一般	○	○	○	○	○
		24	管理職等への登用や企画・方針決定の場に女性が参画することについてどう思いますか。	新規	意識	一般					
			今後女性が増えたほうが良いと思う役職(そう思う、どちらかというと思う、どちらかというと思わない、そう思わない)	○(継続)			○	○	○		
		(1)	国会議員	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○
		(2)	知事や市町長	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○
		(3)	県・市町の議会議員	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○
		(4)	県・市町の審議会や委員会の委員	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○
		(5)	県・市町などの役所の管理職	○(継続)	意識	一般	○	○		○	
		(6)	小・中・高校の管理職	○(継続)	意識	一般	○	○		○	
		(7)	大学教授・管理職	○(継続)	意識	一般	○	○		○	
		(8)	裁判官・検察官・弁護士	○(継続)	意識	一般	○	○		○	
		(9)	医療職(医師、歯科医師、薬剤師)・管理職	○(継続)	意識	一般	○	○		○	
(10)		農協など団体の役員	○(継続)	意識	一般		○		○		
(11)	企業・施設の管理職	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○		
(12)	企業・施設の経営者・起業家	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○		
(13)	自治会長・PTA会長	○(継続)	意識	一般	○	○	○	○	○		
配偶者等からの暴力について	全員	26	配偶者や恋人からの被害経験(選択肢10、頻度別)		実態	個人	○	○	○	○	○
	被害経験者	(1)	誰かに相談したか		実態	個人	○	○	○	○	○
	相談した人	(2)	相談先はどこか		実態	個人	○	○	○	○	○
	相談しなかった人	(3)	相談しなかった理由		意識	個人	○	○	○	○	○
	全員	27	DV(配偶者からの暴力)について、相談できる窓口があることを知っているか	新規	実態	個人					
	全員	28	望まない妊娠を防ぐためにはどのようなことが大事か		意識	一般	○		○	○	
	29	男女間における暴力をなくすためにはどうしたらよいと思うか		意識	一般	○	○	○	○	○	
男女共同参画社会の実現について	全員	30	行政機関は男女共同参画社会づくりのために何をすべきだと思うか		意識	一般	○	○	○	○	○
FS	全員	F1	あなたの性別は(女性・男性)		実態	個人	○	○	○	○	○
		F2	あなたの年齢は(20代、30代、40代、50代、60代、70代以上)		実態	個人	○	○	○	○	○
		F3	配偶者がいるか(いる、いない)		実態	個人	○	○	○	○	○
		F4	18歳未満の子どもはいるか	新規	実態	個人		○			
		F5	同居している家族構成は	新規	実態	個人					○
	配偶者のいる人	F6	配偶者の職業は(無職を含む選択肢13) 配偶者の雇用形態は(選択肢4)		実態 実態	個人 個人	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○